

SUGINAMI CITIZENS'

杉並区気候区民会議

CLIMATE ASSEMBLY

開催レポート

第2回：テーマ別に詳しく学ぼう

2024年4月20日（土）13:30～17:30

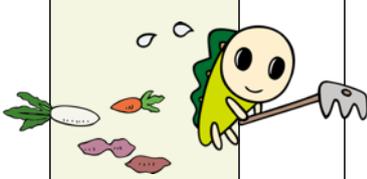
杉並区役所

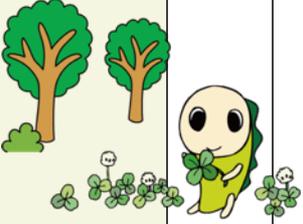


1 | 実施概要

日時	2024年4月20日(土) 13:30~17:30 (4時間)
場所	杉並区役所 本庁舎 第4会議室 (杉並区阿佐谷南 1-15-1)
テーマ	第2回: テーマ別に詳しく学ぼう
概要	「循環型社会」「みどり」「交通」のテーマについて、気候変動問題に対する取組を行う学識者、事業者、中間支援団体、行政が、それぞれの立場で情報提供し、杉並区の気候変動対策に何が必要か多角的な視点から理解を深めました。
参加人数	57名

2 | 当日のプログラム

プログラム	時間		概要
はじめに	13:30	10分	本日の目的と進め方
テーマ: 循環型社会 	13:40	48分	<u>モデレーター</u> 山辺アリス 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 持続可能な消費と生産領域 研究員 <u>パネリスト</u> 渡部 厚志 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 持続可能な消費と生産プログラムディレクター 中上 富之 株式会社セブン&アイ・フードシステムズ サステナビリティ推進総括マネジャー/環境部会長 金子 さやか 杉並区 環境部 ごみ減量対策課
	14:28	12分	グループで意見交換: 感想の共有
	14:40	10分	休憩
	14:50	5分	質疑応答

プログラム	時間		概要
テーマ： みどり 	14:55	50分	モデレーター 山ノ下 麻木乃 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 生物多様性と森林領域 ジョイント・プログラム ディレクター パネリスト 島谷 幸宏 熊本県立大学 特別教授 佐藤 留美 特定非営利活動法人 NPO birth 事務局長／特定非営 利活動法人 Green Connection TOKYO 代表理事 大場 将国 杉並区 都市整備部 みどり公園課
	15:45	10分	グループで意見交換：感想の共有
	15:55	10分	休憩
	16:05	5分	質疑応答
テーマ： 交通 	16:10	50分	モデレーター 片岡 八束 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 都市タスクフォース プログラムディレクター パネリスト 三重野 真代 東京大学公共政策大学院 交通・観光政策研究ユニット特任教授 古倉 宗治 特定非営利活動法人自転車政策・計画推進機構 理事長 尾田 謙二 杉並区 都市整備部 交通企画担当
	17:00	10分	グループで意見交換：感想の共有
	17:10	5分	質疑応答
まとめ	17:15	15分	まとめ・次回ご案内
	17:30		終了

3 | 情報提供の様子・記録

情報提供の詳細は、区ホームページに掲載している当日の資料や記録動画をご覧ください。

■テーマ：循環型社会

～循環型社会を行政、区民そして事業者の連携によりどのように実現できるか？～



金子 さやか
杉並区
環境部
ごみ減量対策課

中上 富之
株式会社セブン&ア
イ・フードシステムズ
サステナビリティ推進
総括マネージャー/環境
部会長

渡部 厚志
地球環境戦略
研究機関 (IGES)
持続可能な消費と生
産領域 プログラムデ
ィレクター

山辺 アリス
地球環境戦略
研究機関 (IGES)
持続可能な消費と
生産領域 研究員

■テーマ：みどり

～区内のみどりの価値を最大限発揮させるために行政と区民はどのように連携できるか？～



大場 将国
杉並区
都市整備部
みどり公園課

佐藤 留美
NPO birth 事務局長
Green Connection
TOKYO 代表理事

島谷 幸宏
熊本県立大学
特別教授

山ノ下 麻木乃
地球環境戦略研究機関
(IGES)
生物多様性と森林領域
ジョイント・プログラ
ムディレクター

■テーマ：交通

～カーボンニュートラルの実現に向けて、車中心なまちづくりから、徒歩・自転車や新しいモビリティを活かしたまちづくりに、どのように移行していくか？～



尾田 謙二
杉並区
都市整備部
交通企画担当

古倉 宗治
自転車政策・
計画推進機構 理事長

三重野 真代
東京大学
公共政策大学院
交通・観光政策研究
ユニット 特任教授

片岡 八束
地球環境戦略研究機関
(IGES)
都市タスクフォース
プログラム
ディレクター

■情報提供・意見討論のグラフィックレコーディング



※グラフィックレコーディングの詳細は、杉並区ホームページ「第2回 気候区民会議」よりご覧ください。URL：<https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/gomi/kikoukumin/1093758.html>

4 | 各グループの意見交換の記録

各テーマの情報提供を受けて、参加者が思ったことや考えたことを自由に意見交換しました。

循環型社会

凡例 | ●意見のポイント | ・付箋の言葉 (感想・意見)

[1~12グループのワークシート]

The image displays 12 hand-drawn worksheets, numbered 1 through 12, arranged in a 3x4 grid. Each worksheet is titled '循環型社会' (Circular Society) and contains various diagrams, notes, and sticky notes. The worksheets are organized into four columns and three rows. The first column (1-3) shows diagrams with boxes and arrows. The second column (4-6) features more text-based notes and diagrams. The third column (7-9) includes diagrams with circles and arrows. The fourth column (10-12) shows diagrams with boxes and arrows. The worksheets contain various terms and phrases related to circular economy, such as '循環型社会', '資源', '廃棄物', 'リサイクル', '再利用', '削減', '環境', '持続可能な社会', 'SDGs', '脱炭素', 'グリーン成長', '循環経済', '資源循環', '廃棄物削減', 'リデュース', 'リユース', 'リサイクル', '環境負荷低減', '持続可能性', 'SDGs', '脱炭素社会', 'グリーン成長戦略', '循環型経済', '資源循環型社会', '廃棄物削減型社会', 'リデュース型社会', 'リユース型社会', 'リサイクル型社会', '環境負荷低減型社会', '持続可能性型社会', 'SDGs型社会', '脱炭素型社会', 'グリーン成長型社会', '循環型経済型社会', '資源循環型社会', '廃棄物削減型社会', 'リデュース型社会', 'リユース型社会', 'リサイクル型社会', '環境負荷低減型社会', '持続可能性型社会', 'SDGs型社会', '脱炭素型社会', 'グリーン成長型社会', '循環型経済型社会'.

1 グループ

●そもそも食べ残さないことが重要

- ・食品ロスの削減を目指すのではなく、そもそも残さないことが重要
- ・振り返るとカラオケ、飲み屋などでフードロスをよくしていることに気づいた
- ・スーパー、コンビニの食品大量陳列のその後が気になる。構造から変えないと売り手の元で余ってしまう

●杉並区がフードロスの取組をしていることを知らなかった

- ・mottECO に杉並区が参加していること知らなかった
- ・mottECO は良い取組と思う
- ・杉並区がフードロスの取組をしているのは知らなかった
- ・フードロスを減らすためのサービスがいくつかあることを初めて知った

●エコについてもバランスが重要なのではないか

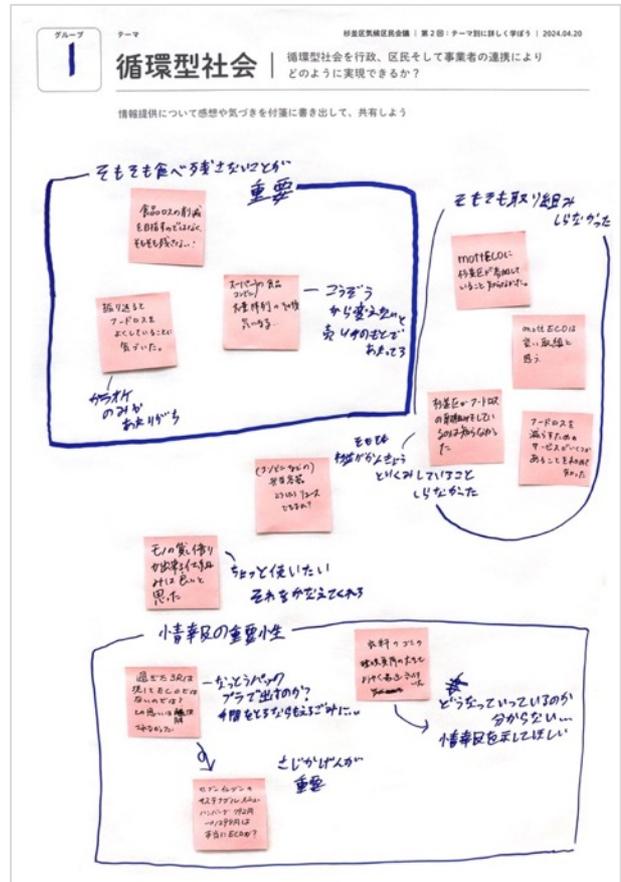
- ・過ぎた3Rは決してECOではないのでは？との思いは解決されなかった
- ・セブンイレブンのサステナブルメニューでハンバーグが値上げしてしまうことは本当にエコなのか
- ・さじ加減が重要

●もっとごみに関する情報を知りたい

- ・納豆パックはプラごみで出した方がいいのか、手間を取るならば燃えるごみに捨ててしまう
- ・衣料ごみの環境負荷の大きさによろやく最近気づいた。どうなっているのか分からない。情報を示してほしい
- ・コンビニなどの弁当容器をどうしたらリユースできるかを知りたい

●知らなかった取組について知れた

- ・ちょっと使いたいを叶えてくれる、モノの貸し借りができる仕組みは良いと思った



2 グループ

●杉並区の一人当たりのごみの排出量が 23 区で最も少ないことに驚いた

- ・杉並区の 1 人のごみの量が 23 区最少を知らなかった
- ・杉並区 1 人あたりごみ排出少ない。事業ごみが少ないなどの関係あるか調べたい
- ・精神論ではない、ファクトをとらえた取組が望ましい

●食べ残しや規格外で無駄になってしまっている食品が問題ではないか

- ・息子の給食試食会に出席したが、食べ残し（野菜）が大量にあることに驚いた。食べやすい部位などは全部なくなるということであった
- ・S20 生まれ。私には食べ残しなど考えられない。私が育った頃は米もあまりなく、素食であった
- ・注文時の気づかいが食べ残しになる。大人数で食事をすると、気をつかって隣のテーブルにも同じメニューを注文して、頼みすぎる
- ・フードロスの件は、生産者が出荷できずにごみになっているなど、規格外品の問題も大いにありそう

●地域内で循環できると良いが、課題もありそう

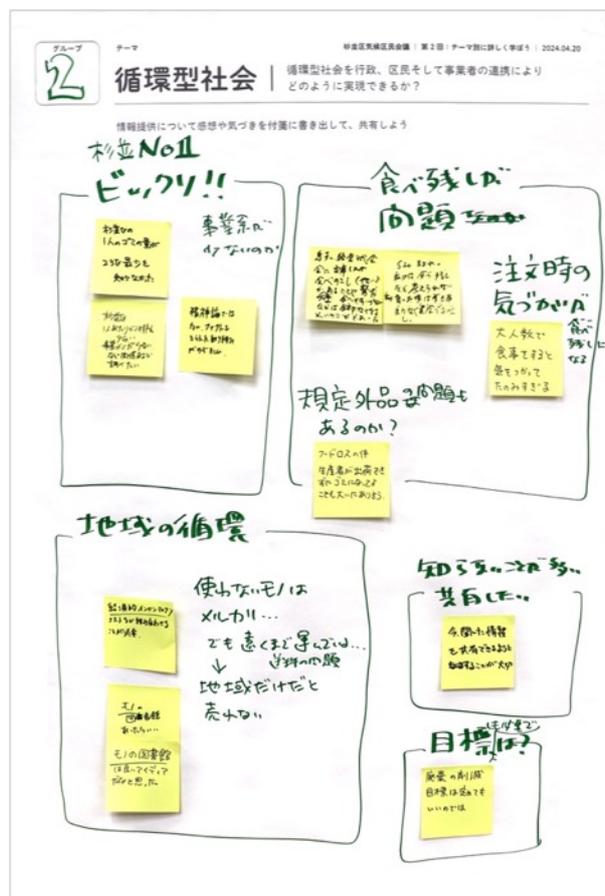
- ・経済的インセンティブ（コスト）などと組み合わせることが必要。例えば、使わないモノはメルカリに出しているが、遠くまで運ぶと送料の問題があり、リサイクルしていても環境に負荷があるかもしれない。一方、地域内だけでモノをまわすのは難しい
- ・事例にあった「モノの図書館」があったらいい。良いアイデアだなと思った

●知らないことが多い。共有したい

- ・今、聞いた情報を共有できるようにすることが大切

●廃棄を減らすための目標も必要ではないか？

- ・廃棄の削減目標は定めてもいいのでは



3 グループ

●取組を知る機会があれば良い

- ・取組の認知度向上が肝要
- ・会社（事業系）が様々な取組をつくる→一般市民の認知度が低い。PR 不足！
- ・興味が薄いから知らなかった。啓発が必要

●買い物が気晴らしの人もある

- ・買い物で気晴らししたいのだけど...ギルティー!?

●経済が回らなくならないか心配

- ・衣服 ムダな物をつくらない→会社にとって、経済が回らない？

●衣類のムダを減らすには？

- ・衣類のムダは予想以上。買う＝手放す

●外国との意識の違いがあった

- ・ものを捨てない意識（外国）の高さに感心

●量り売りは良いアイデア

- ・量り売り、モノの図書館は良いアイデア

●価格が高いと選びにくい。他の商品と同じぐらいになると良い

- ・レストランメニューの中でリサイクルの商品があっても、価格で判断してしまうときはどうしてもあると思う

●食に対する教育が重要

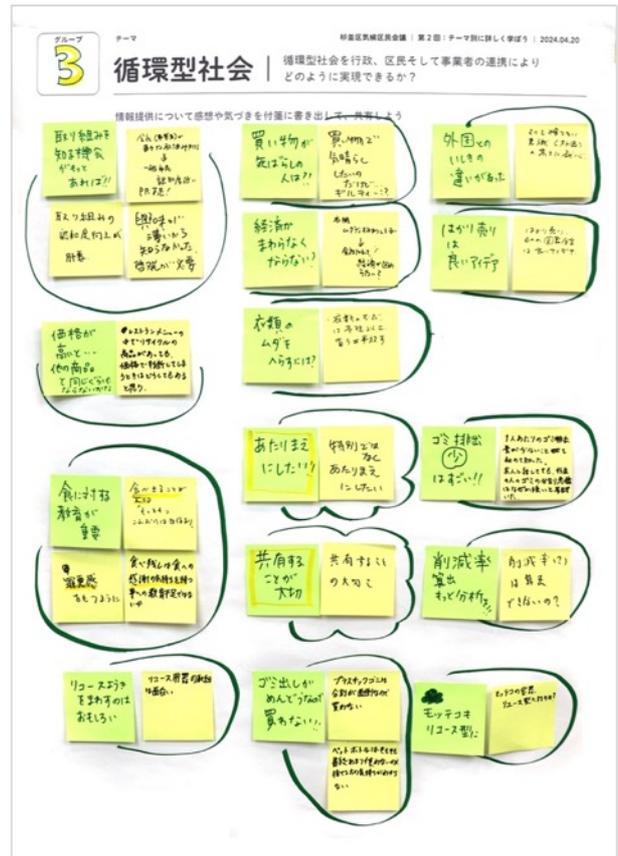
- ・食べることが大切はもっともである。これだけは自信あり
- ・罪悪感をもつように
- ・食べ残しは食への感謝の気持ちを持つ事への教育不足ではないか

●取組が当たり前になると良い

- ・特別ではなく、あたりまえにしたい

●「共有すること」が重要

- ・共有することの大切さ



●ごみ排出最少はすごい

- ・1人あたりのごみ排出量が少ないことを初めて知った。友人と話していても、杉並の人のごみの分別意識はなぜか強いと考えていた

●削減率算出をもっと分析してはどうか

- ・削減率(?)は算出できないの？

●興味深いリユース容器の取組

- ・リユース容器の取組は面白い

●ごみ出しが面倒なので買わない

- ・プラスチックごみは分別が面倒なので買わない
- ・ペットボトルはそもそも普段あまり使わないので、捨てる方の気持ちがわからない

●mottECO もリユース型にしてはどうか

- ・mottECO の容器をリユース型にするのは？

4 グループ

●買うものを見極めつつ、モノを大切にしたい

- ・昔風のあり方から、「高くても良いものを」、「食べ残しは持ち帰る」などに、見直すといのかな？
- ・バーゲンセールのものとか、必要ないものは買わない
- ・福祉用品は区で借りられる（区は広報不足かも）
- ・壊れやすいものを買わない。安いものより長く使える

●モノが循環する仕組みづくりがすごく大事

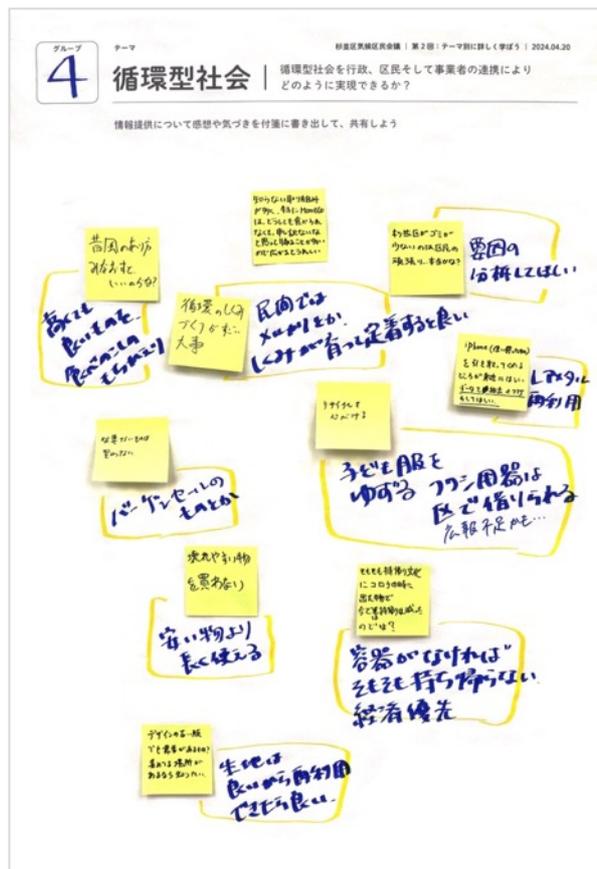
- ・循環の仕組みづくりがすごく大事
- ・民間ではメルカリとか、ものが循環する仕組みが育って定着すると良い
- ・リサイクルやリユースを心がける→子ども服は捨てずに譲ってきた
- ・デザインの古い服でも需要があるもの？古い服でも生地は良いから、集めてる場所があるなら知りたい
- ・レアメタルを再利用するために、iPhone（使い終わったもの）を引き取ってくれるところが身近にほしい。データ抽出やクリアをしてほしい

●ごみが少ない要因を丁寧に分析してほしい

- ・杉並区のごみが少ないのは区民の頑張り...本当かな？

●mottECOの取組の良さと、持って帰らなくてもよい仕組みづくりの必要性

- ・知らない取組が多く、特に mottECO は、どうしても食べられなくて、申し訳ないなと思って帰ることが多いので広がるとうれしい
- ・そもそもコロナの時に持ち帰りの動きが出たが、今では持ち帰りは減ったのでは？容器がなければそもそも食べられる分だけ注文して持ち帰る必要が出ないかもしれない。持ち帰りは経済優先の考え？



5 グループ

●初めて聞いたが mottECO がとても良い取組だった

- ・ mottECO についてよく知れたし、初めて知ることができた
- ・ mottECO もっと広めたい

●経済とのバランスで作りすぎないことも大切

- ・ ものを作りすぎ
- ・ 食品ロスは売る側に起因するものが大では。恵方巻、クリスマスケーキなど
- ・ 余分なものは買わない
- ・ できるだけ全て食べる
- ・ リサイクルできるものはリサイクル、リユースする

●CO₂排出の原因が生活と身近になっている

- ・ CO₂排出のうち、34%が食、8%が衣料。とても身近である

●23区でゴミが少ないのに驚いた

- ・ 23区で最もゴミが少ないのが杉並区というのに驚いた

●家庭ごみの有料化など、欧州の取組を参考にしたい

- ・ 家庭ごみの有料化はできるか？そうなる则他の地域に捨てられる？
- ・ ごみの分別はもっと欧州並みに強化すべきでは

●モノの図書館はとても良いが、需要と供給のバランスが難しそう

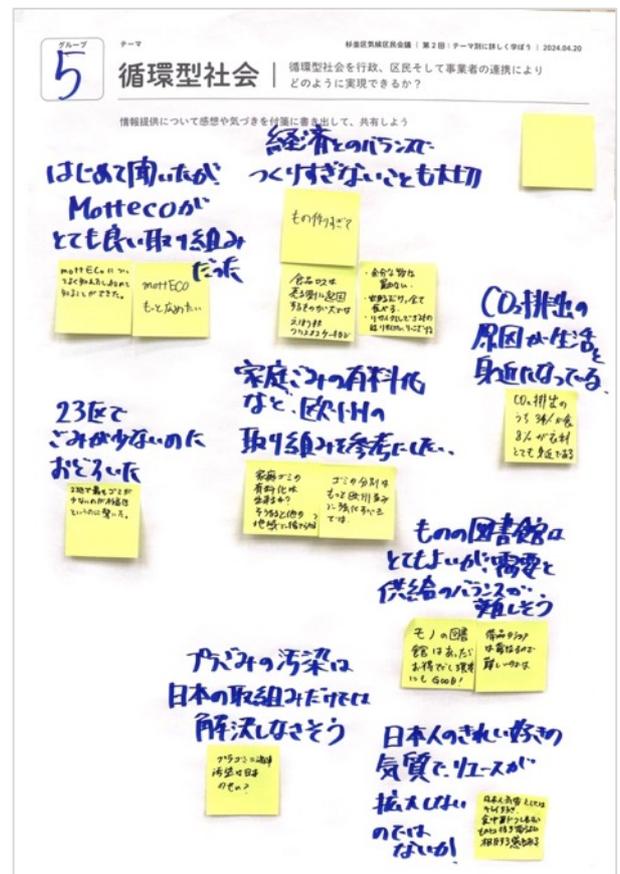
- ・ モノの図書館はあったらお得だし、環境にも GOOD !
- ・ 備品のシェアは需給なので難しいのでは

●プラごみの海洋汚染は日本の取組だけでは解決しなそう

- ・ プラごみの海洋汚染は日本のせい？

●日本人のきれい好きの気質で、リユースが拡大しないのではないか

- ・ 日本人氣質としてはキレイ好き。食中毒しやすいものは持ち帰らない。相反する感もある



6 グループ

●参考事例を知らなかった

- ・思っていた以上にたくさんの取組が行われているのだと思った
- ・「モノの図書館」など外国で行っている事例をもっと知りたい
- ・mottECO は良い取組と思うが理想的には無い方がよい←台湾では持ち帰りは当たり前
の習慣
→持ち帰り容器は？無料？持ち込みなし？

●食べ残しを減らすために、量が少ないシニアメニューがほしい

- ・メニューがどれも量が多い。シニア向けに少量のものがあると良い。

●人それぞれ必要な量が違う

- ・外食は基本量が多い。写真などで注文者が調整、リクエストできるようにしたら良いかも？小盛り〇〇円とか〇〇g と表示があると良い
- ・大食い番組は？
- ・量り売りやリユース品は高価格だったりする→他製品より買う価値を感じられないと普及しないかも？

●過剰包装を減らせると良い

- ・過大な包装が多い。少なくできないか？
- ・昔の豆腐屋さん（ようにお鍋を持って買いに行けること）の良さの再確認

●健康を考えると保存料ゼロが良いが、日持ちしないというデメリットもある

- ・「保存料ゼロ」をありがたがらない（健康は他のことで担保する）
- ・食べきれない、売り切れない

●物を買う前に必要性を考えることが大切。買わない経済は企業利益にどうつなげるか

- ・何か買う前に本当に必要か考えたいと思った
- ・物を捨てない≠物を買わない 企業の利益にどうつなげる？



7 グループ

●モノを買うときに無駄がないか、本当に必要かを考えるようにしたい

- ・物を買うときに本当に必要かどうか、立ち止まってからにしたいと思う
- ・食品ロスのないよう、買いすぎないように計算して買いたい
- ・衣類のムダが多いと思った。流行があるため？

●日本人の美德や道徳心に訴えるよりも楽しさやワクワクできるほうが行動変容につながると思う

- ・1300円のグラタン買う？
- ・善意や道徳ではなく、楽しんで、ワクワクで行動変容になると...
- ・インセンティブないのでやらなそう

●ごみの削減以外で何かできることとしてシェアの可能性は？

- ・ごみ削減の努力だけではなく、それ以外を考える必要があるそう
- ・個人でできることの限界
- ・シェア、共有
- ・あまり使わないもの、DIYの工具等を借りられる場所があれば便利。
- ・DIY工具などは高い割に使用の頻度が低いため、借りられると良い
- ・ホームセンター的なもの少ない？
- ・図書館は遠いので、コンビニくらいの場所で借りられると良い

●家庭でできる取組は、ごみの分別以外であるのか

- ・分別以外でも環境のために家庭でできることはあるのか？

●企業が多重容器包装等を減らしてくれると良い

- ・消費者（家庭）も多重包装等は望んでいない
- ・保存のためかもしれないが、多重包装が減ると捨てやすくなる
- ・昔の笹でご飯を包んでいるみたいな方法が良さそう

●mottECO など、知らないサービスはまだあるということに気づいた

- ・知らなかったサービス（mottECO）があった
- ・食べ物を買うときに量を調整できるとよい
- ・mottECOはいいシステム。でも食べ切る事が大切。容器は自宅の物ではダメ？
- ・バーミキュラの鍋は更新していけるからいいね



8 グループ

●環境に良いことと手間を掛けることのバランスが難しそう

- ・現在の「使い捨て」の楽さから変化できるだろうか？
- ・区民全体で動くようになるか？
- ・「努力が必要」だと感じた

●ごみ処理にもコストがかかるが、リユースするのもにもコストがかかる

- ・洗浄や再生にもコストがかかる←同様に→ごみの処理にもコストがかかる

●企業によって行われる取組に参加してみる

- ・個人ではハードルがあるが、企業の取組には参加しやすい

●外食時、メニューに量も示すと食べ残しを減らせると思う

●大人数での食事で多めに注文する習慣を変えた方がいい

- ・大人数の食事で多めに注文しがち→食べ残しにつながる

●自分の生活に跳ね返ってくる事を実感するので、日常的に取り組める事をしたい

- ・自分の生活に返ってくることを実感すると焦りが出る。日常的に取り組めることはかなり多い。その分、貢献できることも多い

●海外で行われている取組が日本では認知されていない、浸透しないのはなぜか？

- ・日本で知られていない、浸透しないのはなぜだろう？



9 グループ

●個人でできることには限界がある

- ・必要なものしか買わない、買ったものは使い切るなどは難しいかも
- ・前回のテーマより個人のモラルによる部分が大きいと感じた

●個人で取り組む以外では何があるか。 仕組みから根本的に見直す必要がある

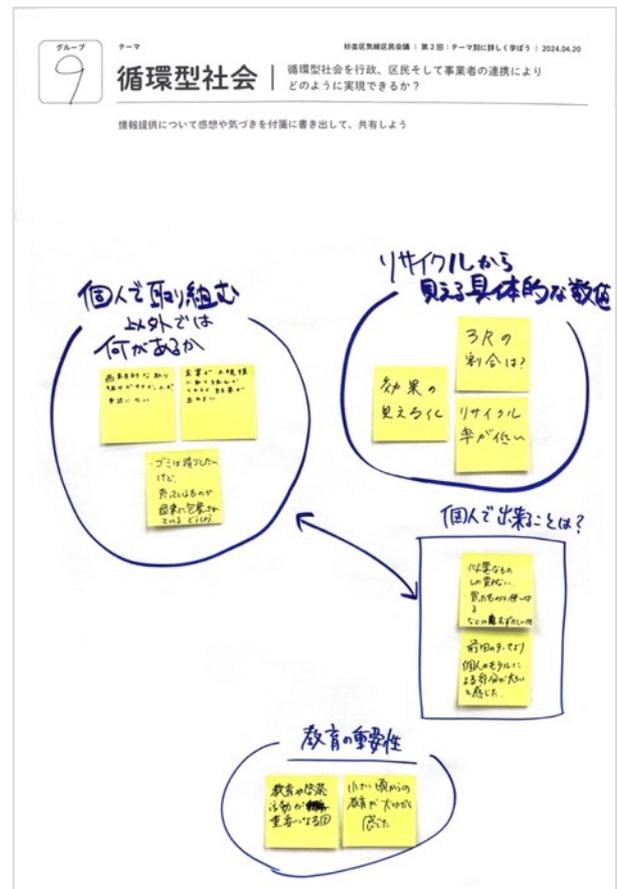
- ・画期的な取組が多かったが、身近にない
- ・企業が大規模に取り組んでくれると結果が出やすい
- ・ごみは減少したけど、売ってるものが過剰に包装されている。どうしよう

●小さい頃からの教育や啓発が重要

- ・教育や啓発活動が重要になる
- ・小さい頃からの教育が大切だと感じた

●リサイクルから見える具体的な数値

- ・効果の見える化
- ・3Rの割合は？
- ・リサイクル率が低い



10 グループ

●持ち帰ることよりも、食べ切ることが大切、ということに共感した

- ・食べ残し推奨じゃなくて良かった
- ・フードロス削減のため、持ち帰り容器が出たのは良いが、あくまで食べ切るのが一番良いということを忘れてはいけない
- ・ロスを生かす→浸透させて→ロスを出さない！へ→ロスゼロに向けた個々の意識づくり

●区を取組を本当に知らないと感じた

- ・区を取組を本当に知らないと思った。
- ・区報はよくみているつもりだったが見落としている情報もあった
- ・知らないマークばかり

●お店にやってもらうためのインセンティブが必要

- ・企業と区の連携（取組、お金）

●量り売り店は近くにない

- ・区内に量り売りスーパーが沢山ほしい
- ・量り売りを中々利用できない
- ・洗剤は量り売りで買っている

●モノの図書館いいな！

- ・児童館などでおもちゃの貸し借りがしたい
- ・おもちゃはすぐに使えなくなる
- ・ベビーカーはレンタルにした
- ・日曜道具などもあるとよい

●23区でごみの排出量が最少な本当の理由はなにか？事業者が少ないから？

- ・杉並区のごみ量が少ないのは皆の心がけ？
- ・杉並区は1人あたりのごみの排出量が少なかったが、工場などが少ないことも関係しているのかなと思った
- ・何を気を付けているのか知ればヒントになるのでは？

●ごみを減らすにはどうすればいいのか？

- ・先ずはリデュース。判るがどうする？
- ・古着屋が増えているので使う学生も多い



11 グループ

●海外などの良い取組はどんどん真似していけば良い

- ・知らない取組が多々ありました
- ・先行している良い取組はマネしていければ良いと思う！

●食品ロス減の取組は実際あまり真剣に取り組まれていないのでは？

- ・食品ロスを減らしたいのなら、配給制にすれば良いのでは？
- ・実際のところ、そんなに重要視されていないのでは？

●学校給食の牛乳びんはなぜなくなった？

- ・学校給食から牛乳びんが無くなったのはなぜか？

●調味料などは量り売りしてほしい

- ・調味料類は量り売りをしてほしい

●モノの図書館の取組はよい

- ・モノの図書館の取組はよいと思った

●服は同じものを着続けたいが体形が合わなくなってしまう、おしゃれとのバランスが難しい

- ・体形が崩れていく
- ・おしゃれとお別れ？（笑）
- ・長い期間、服を着たいが体形が合わなくなってくる

●個人の意識改革と事業者の取組の両輪で回すことが大切

- ・個人の資源循環/食品ロスの意識改革は必須である！
- ・資源循環/食品ロスには事業者の存在が重要！



12 グループ

●資源リサイクル率はどうしたら上げられるのか気になった

- ・リデュースの視点での取組が個人レベルでできる取組として、一番身近で考えやすい

[リデュースの視点]

●外食メニューの量の目安を可視化できると良い

- ・外食のときに食べ残しをなくすため、メニューに量や人数目安のサイズを明記する
- ・外食メニューに量の目安を書いてほしい

●賞味期限切れに気を付ける

●手前どり POP は効果がある

●食べ切ることが大切

- ・mottECO の仕組みは良いが、まずは食べ切ることが大事！

●デリの包装が過剰

- ・スーパーで購入するデリは包装されすぎている

[リユースの視点]

●物々交換ができる場所が常設であると良い

- ・個人の不要品のリサイクルができる、交換場所があると良い

●物を借りることができる、図書館のような場所があると良い

- ・物を借りて返せる仕組みがあると良い
- ・リユースを促す図書館方式の取組が印象的だった

[リサイクルの視点]

●企業の食品リサイクルループの仕組みが良い

- ・リサイクルは、企業と連携するなど大きい規模で取り組むことが必要



みどり

凡例 | ●意見のポイント | ・付箋の言葉 (感想・意見)

[1~12グループのワークシート]

1 みどり | 室内みどりの設置を最大限確保できるために、付箋と意見のポイントを記載してください。

2 みどり | 室内みどりの設置を最大限確保できるために、付箋と意見のポイントを記載してください。

3 みどり | 室内みどりの設置を最大限確保できるために、付箋と意見のポイントを記載してください。

4 みどり | 室内みどりの設置を最大限確保できるために、付箋と意見のポイントを記載してください。

5 みどり | 室内みどりの設置を最大限確保できるために、付箋と意見のポイントを記載してください。

6 みどり | 室内みどりの設置を最大限確保できるために、付箋と意見のポイントを記載してください。

7 みどり | 室内みどりの設置を最大限確保できるために、付箋と意見のポイントを記載してください。

8 みどり | 室内みどりの設置を最大限確保できるために、付箋と意見のポイントを記載してください。

9 みどり | 室内みどりの設置を最大限確保できるために、付箋と意見のポイントを記載してください。

10 みどり | 室内みどりの設置を最大限確保できるために、付箋と意見のポイントを記載してください。

11 みどり | 室内みどりの設置を最大限確保できるために、付箋と意見のポイントを記載してください。

12 みどり | 室内みどりの設置を最大限確保できるために、付箋と意見のポイントを記載してください。

1 グループ

●杉並区のみどりが想像よりも少なかった

- ・杉並区はみどりが多いイメージがあったけれど、まだまだ少ないと感じた

●杉並区のみどりが想像よりも多かった

- ・杉並区は 23 区の中なかでは住宅のみどりが多いイメージ
- ・杉並区は 2 割のみどりということに意外と多いと思った
- ・実感ではもっと少なかったが、緑被率が 22%もあるということに驚いた
- ・家と会社の往復ではみどりがあることに気が付きにくい
- ・屋敷林、初めて聞きました

●市民活動を通じてみどりを広げる

- ・「コミュニティがないとみどりを守れない」という話が印象的
- ・参加者の 5 人全員が落ち葉感謝祭を知らなかった
- ・植林などの市民運動ができれば良い

●みどりの量があることが重要

- ・単純にみどりを増やしたい
- ・みどりを育てる空間があることが重要

●自宅の庭を有効活用したい

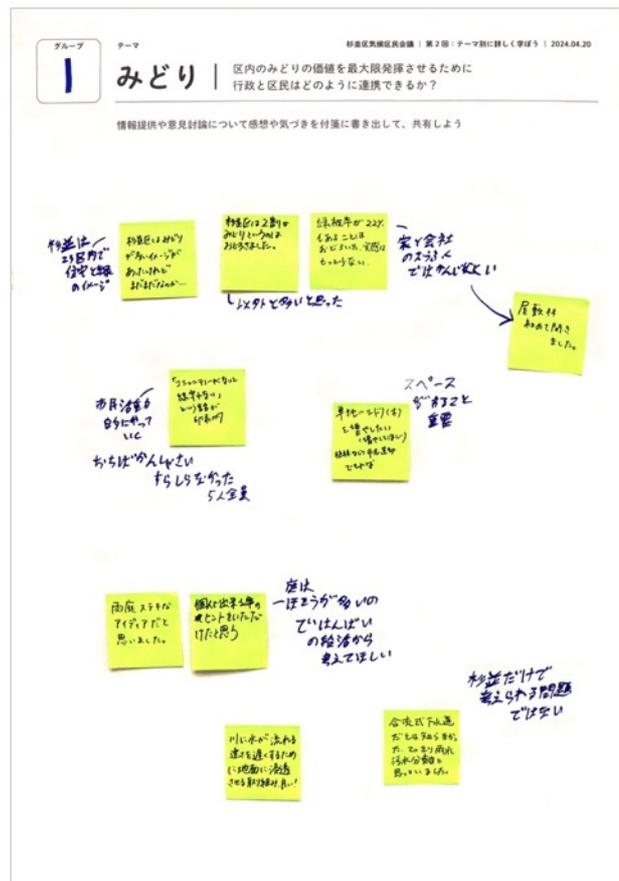
- ・雨庭ステキなアイデアだと思いました
- ・個人でできる事のヒントをいただけたと思う
- ・庭はコンクリート舗装が多いので購入の段階から考えたい

●杉並だけで考えられる問題ではない

- ・みどりの問題は杉並だけで考えられる問題ではない

●下水道の仕組みや土の浸透力について、知らなかったことが知れた

- ・合流式下水道だとは知らなかった。てっきり雨水汚水分離と思っていました
- ・川に水が流れる速さを遅くするために地面に浸透させる取組、良い！



2 グループ

●問題1 みどり管理はコストがかかる

- ・みどり管理はコストがかかるが、地域の災害対策になる。民間にはインセンティブあるといい

●問題2 個人の支援はどうしたらいいか

- ・大きな家がマンションになっている傾向があると感じている。みどりが減っている

●こんな支援があるといい

- ・みどりを増やしたら各家庭等に区から助成金をもらえとか、税金を少なくしてもらえとかできないのか。
- ・空き家を公園にできないか。

●土の大切さ、「ネイチャーポジティブ」という概念や屋敷林について初めて知った

- ・みどりと「土」が環境を保つ（水害、温暖化）
- ・グリーンインフラを進めるために、ネイチャーポジティブの考え方を持つ
- ・「屋敷林」というコトバを初めてきいた

●都市型の考え方

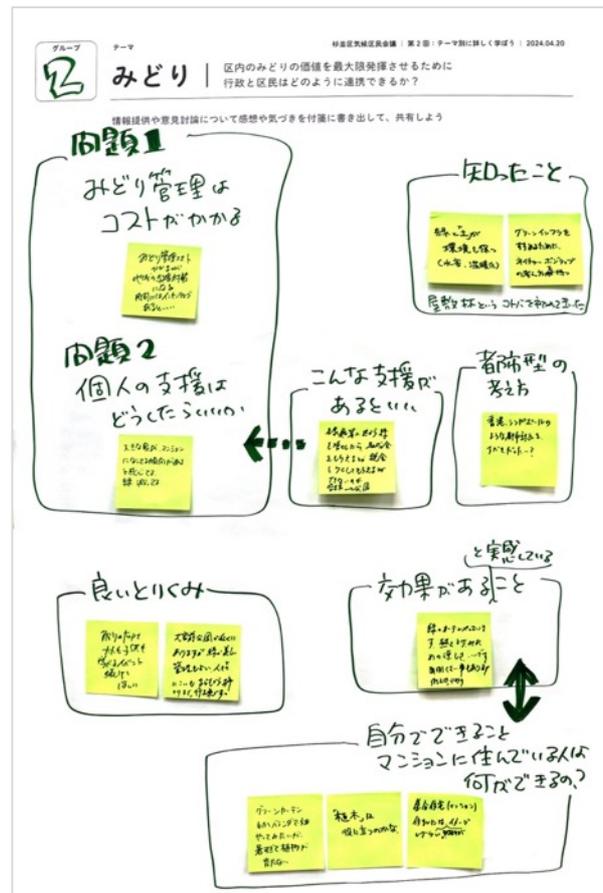
- ・香港、シンガポールのような都市計画をすべきだったか

●みどりと触れて、大切さを学べる良い取組を続けてほしい

- ・みどりの大切さを大人も子どもも学べるイベントを続けてほしい
- ・大宮前公園によく行くが、みどりが美しい、管理も良い。人々のいこいも、子どもからお年寄りまで行き来が多い

●みどりのカーテンの効果を実感している

- ・みどりのカーテンをやっています。暑さよけ、見た目の涼しさなどがあり、いいです。水やりなど面倒くさい事もあります



3 グループ

●行政が民間の緑化を促す支援ができないか？

- ・行政は民有林保護保全に干渉できないの？
- ・住宅、都市にみどりを！条例で植樹をうながす

●みどりの良さを実感する機会が少ない

- ・みどりの良さを実感していない。機会がない

●自然と自分達がつながっていると感じる機会を増やしたい

- ・昔できていた、落ち葉で焼き芋などの自然と自分達がつながっているように感じるイベントを復活してほしい
- ・生き物保護の啓発が大切？
- ・ビオトープどこ行った？

●学校の校庭も森にしてはどうか

- ・中瀬幼稚園はすばらしい（散歩中に見つけた）→学校の校庭も

●みどりの価値を再認識した

- ・さまざまな異常気象。みどりの価値を再認識。前向きに変えていく！

●緑地は集い場にもなる

- ・緑中心にお茶の集い。老いも若きも

●緑化にはハードルもある

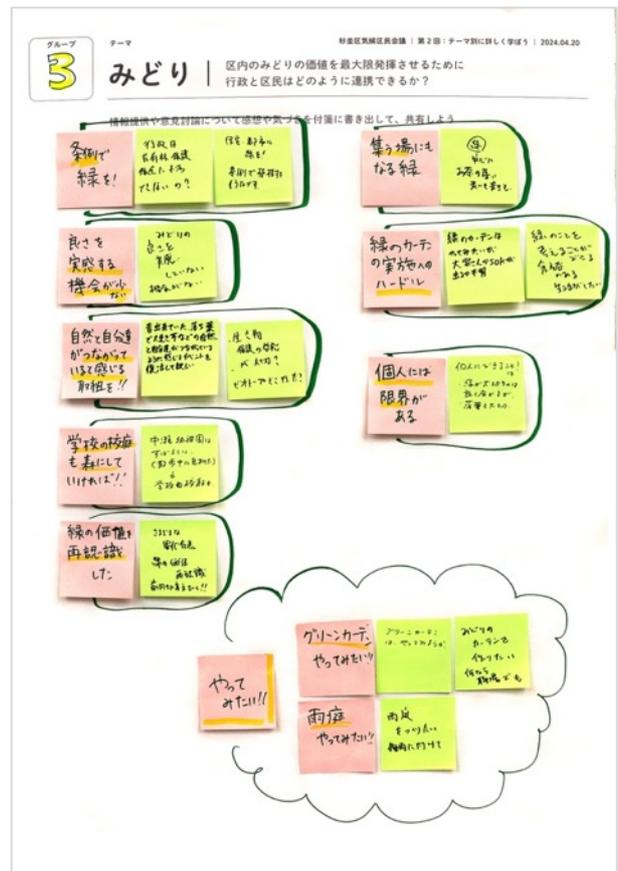
- ・みどりのカーテンはやってみたいが、大家さんからOKが出るか不明
- ・みどりのことを考えることができる余裕のある生活がしたい

●個人でできることには限界がある

- ・個人でできることは？みどりが大切なのは良く分かるが落ち葉の処理の問題も大切

●身近な緑化につながる取組をやってみたい！

- ・グリーンカーテンはやってみようか
- ・みどりのカーテンをつくりたい。何なら職場でも
- ・梅雨に向けて雨庭をつくりたい



5 グループ

●屋敷林などの住宅地のみどりを残したい、大切にしたい

- ・屋敷林を保護し、非課税にしてはどうか？
- ・大邸宅が数戸建ての家に変わりみどり減少
→建ぺい率をもっと厳しくすべき
- ・中瀬幼稚園が素敵
- ・今あるみどりをもっと大切にしていきたい！

●雨庭が簡単にできそうなので広めたい、つくってみたい

- ・雨庭を広めたい。つくりたい
- ・思ったより簡単に改善できそう

●防災の観点から洪水対策ができるのは良い

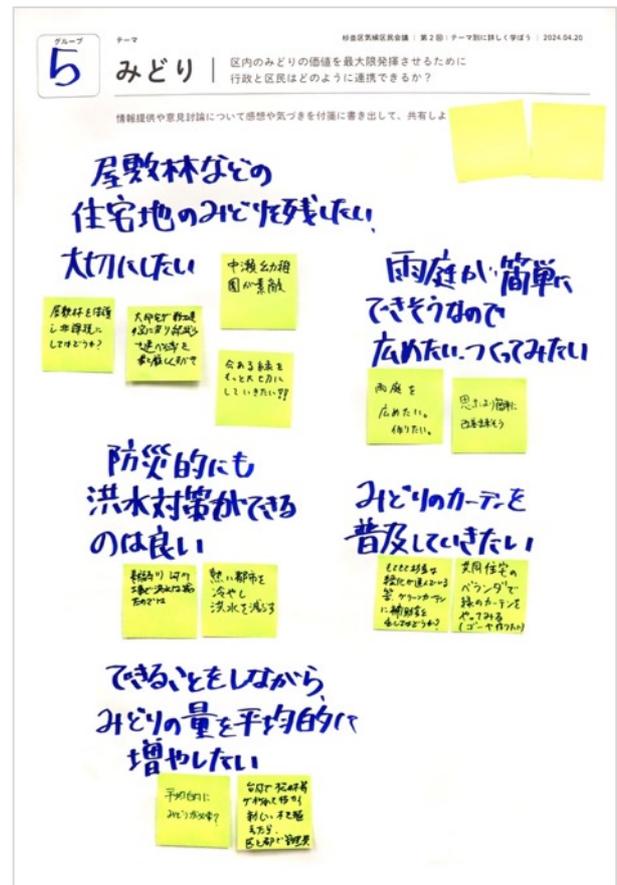
- ・善福寺川河川工事で洪水は減ったのでは
- ・熱い都市を冷やし、洪水を減らす

●みどりのカーテンを普及していきたい

- ・もともと杉並は緑化が進んでいる筈。グリーンカーテンに補助金を出してはどうか？
- ・共同住宅のベランダでみどりのカーテンをやってみる（ゴーヤをつくりたい）

●できることをしながら、みどりの量を平均的に増やしたい

- ・平均的にみどりが必要？
- ・台風で松の木等が折れて倒壊。新しい木を植えたら区と都で管理要



6 グループ

●みどりと生物多様性を意識していきたい

- ・花壇だけではなく、生き物が来るように
- ・身近で昆虫、鳥 etc.減少。生物多様性を意識したミドリが大切

●雨庭は機能だけでなく景観も良いので、増えてほしい

- ・雨庭は機能的なだけでなく、見た目も良いと感じたので、雨庭のような景観にとってもいいものが増えてほしい

●楽しんで取り組むことが普及につながる

- ・楽しんで取り組めたら普及も継続もする

●屋上緑化とソーラーパネルは両立できる!?

- ・屋上の緑化の推進...をすると、ソーラーパネルと競合する？

●日陰のためにみどりを増やしたい

- ・昨年の猛暑、日陰が欲しかった。街路樹を増やせないか

●杉並はみどりが多いのもっと発信をしていけると良い

- ・杉並区は比較的にみどりが多い？→活用もしているイメージ→モデルケースとして外に発信
- ・まとまった場所（善福寺川 etc.）はみどりが豊かだが、民有地のみどりとして空き家、空地を活用

●都市としての機能をより発揮するための適正な量のみどりが必要

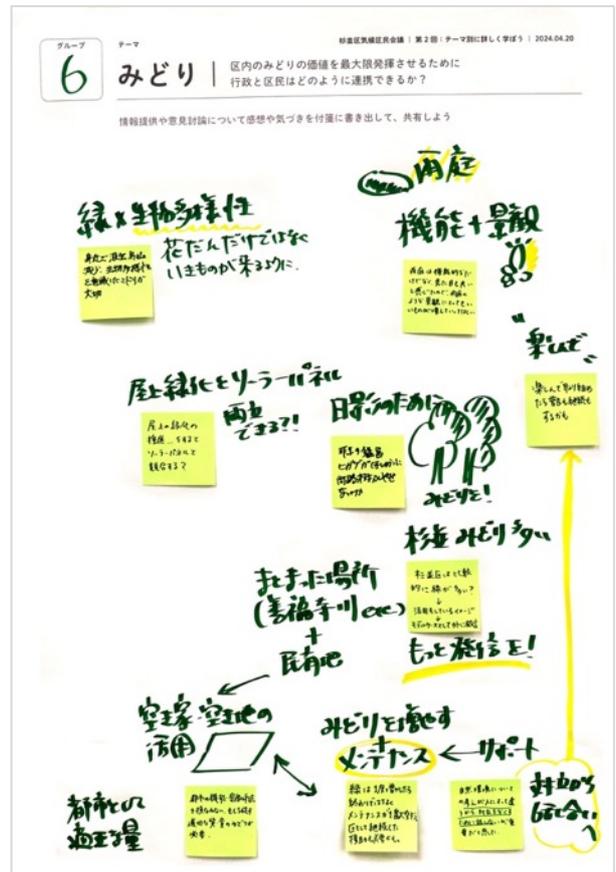
- ・都市の機能、密度の利点を損なわない、むしろ促す、適切な質・量のみどりが必要

●みどりを増やすとメンテナンスも継続的に必要なので想定することが大事

- ・みどりは1度増やしたら終わりではなく、メンテナンスが一番大変そう。区として継続した援助も必要かも

●自然環境について、対立から話し合いへ

- ・自然環境についての考えが人によって違うから、対立をなくすために話し合いが重要だと思った



7グループ

●「木」単体よりも「森」があったら良い

- ・“木”ではなく“森”があったら良い...
- ・公園の役割を考えたい。森というプレイグラウンド

●木や土、森の豊かさ・大切さを学べる場があると良い

- ・遊具よりも森で遊ぶ
- ・都市で実るものを食べたりする
- ・都市でフォーミング
- ・子ども達にもみどりの大切さを知ってもらうために学校でイベントを

●イベントやボランティアがあれば参加したい

- ・杉並区で開催されるみどりのイベント(ボランティア等)があれば、参加してみたいと思います
- ・学べる

●雨庭やグリーンカーテンをやってみたいと思う

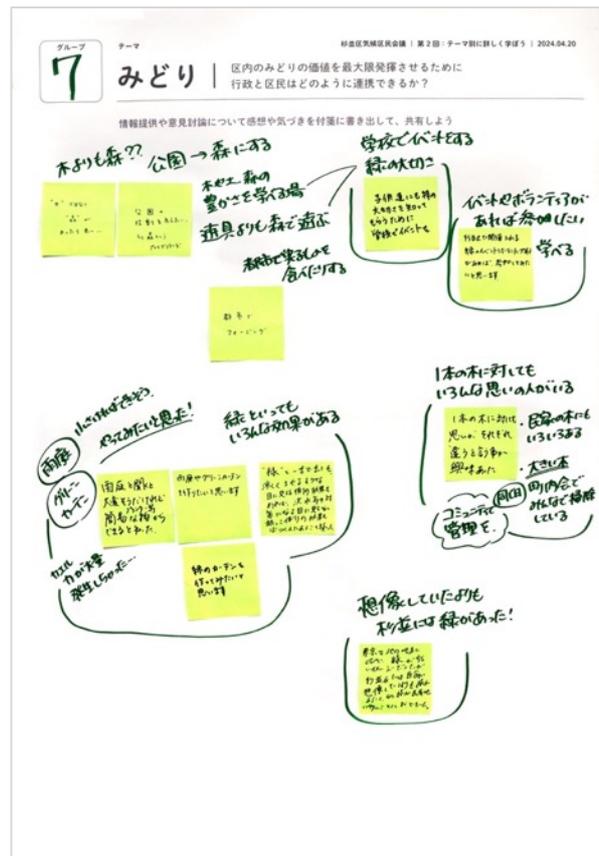
- ・雨庭と聞くと大変そうだけれど、プランター等の簡易な物からできると知った
- ・雨庭やグリーンカーテンをつくりたいと思います
- ・“みどり”と一言で言っても、涼くさせるような目に見える側の効果もあれば、洪水等の対策になる目に見えない根っこ側の効果も抜群にあることを知った
- ・みどりといってもいろんな効果がある
- ・みどりのカーテンをつくらしてみたいと思います
- ・カエル、蚊が大量発生しちゃったことがある

●1本の木に対してもいろんな思いを持った人がいる

- ・1本の木に対しても思いがそれぞれ違うと言う事が興味あった
- ・民家の木にもいろいろある
- ・近所に大きい木があり、同じ日に町内会のみんなまで掃除している
- ・コミュニティで管理ができると良さそう

●想像していたよりも杉並にはみどりがあった

- ・東京は他の地方に比べみどりが少ないイメージだったが、杉並区には自分が想像していたよりもみどりがあること、そのみどりが民有地に多いことにおどろいた



8 グループ

●「みどり」は見た目にも分かりやすい環境対策だと思おう

- ・「みどり」は見てすぐに自然と分かる。分かりやすい環境対策である
- ・緑化意識

●土の役割については目に見えにくいいため、理解が進みにくそう

- ・土って見えないから進めるのが難しそう

●杉並区役所のグリーンカーテンはやめたのか？

●人口が密集した都市でもできることを考えたい

- ・「都市化」がよくないのか？でもその中でもできることありそう
- ・人口が多い中で“土”を増やすのは大変そうだった

●みどりは大切だけど、事業性の面でハードルがある

- ・他の事業との両立。公園→幼稚園
- ・みどりは大切だけど、短期的には建物にしてしまうのが経済的合理的なのが難しい(けやき屋敷、外苑前の開発など)

●賃貸マンションでもみどりのカーテンをやってみたい

- ・ゴーヤをベランダで育てたい
- ・マンションのベランダでできるグリーンインフラってあるのかな
- ・管理上のハードルがあるかな？

●みどりは維持が大変そう

- ・みどりを維持するのは大変。誰が管理していくのか

●水害対策として、グリーンインフラ以外の手法も行われている

- ・野球グラウンドが貯水池になってる
- ・神田川の氾濫がなくなった

●公共空間だけでなく、民地でも緑化の意識が高まってほしい

- ・街路樹や公園などありふれたものから、グリーンカーテンや屋上緑化が当たり前の認識になるべき



9 グループ

●土の吸収力やグリーンインフラの機能について理解できた

- ・思っていた以上に「みどり」のふところは深い
- ・雨水を一気に流すのではなく、できるだけ徐々に浸透させていくかが分かった

●グリーンインフラについてもっと知りたい

- ・グリーンインフラの種類や機能を知りたい。良し悪し含む
- ・グリーンインフラ化によるデメリットを知りたい

●個人で取り組めることが新鮮だった

- ・グリーンインフラへの個人の関わり方は非常に新鮮
- ・プランターというアイデアが個人として取り組める

●一方で、個人で取り組めることには限界がある

- ・個人が取り組む限界...民有地での取組は個人のお金の話が絡むので、理解を得られて広まるのは難しそう

●海外の事例が多かったので身近に感じられなかった

- ・海外の事例が多くて、あまりピンとこない部分があった

●23区の区名でみどりを連想する名前は杉並区だけ。みどりが多いことの良さを伸ばしたい

- ・“杉並”区だからこそのみどり政策
- ・杉並区はみどりが多いと思う。でも増やしていくのは難しそうなので守っていきたい



10 グループ

●自分でできそうなこと、やってみたいことからやってみる

- ・みどりのカーテンづくりたい
- ・プランターなど自分でできることからやってみたい
- ・大規模な取組が多かったが、家のベランダでもできることがあって良かった

●脱炭素は難しそうだが“みどり”なら親しみをもって取り組めそう

- ・みどりは心豊かになること。しなければならない、と窮屈に考えずにできそう

●様々な気づきがあった

- ・グリーンインフラ、ネイチャーポジティブ、初めて聞いた言葉です
- ・ただ木を植えて緑化すればいいわけじゃないのだと知った
- ・杉並区のみどりの多さを初めて知った

●川が多いので河川の取組は大事

- ・洪水警報が発令された善福寺川などは特に

●杉並区の良い未来のためにどうしたらいいかを考えたい

- ・杉並区が23区で一番みどりな都市になるにはどうすればいいか？

●民有地のみどりが多いことへの対応が必要

- ・個人での管理は大変
- ・管理者の高齢化
- ・求めている地主と、保育園・学校など人手があるところを区がつなぐと良いのでは？
- ・個人同士を区がつなげる？

●落ち葉の感謝祭はとてもいい取組！

- ・落ち葉の感謝祭を知らなかったが行ってみたい



11 グループ

●グリーンインフラはとても重要

- ・グリーンインフラの重要性、未来を認識した

●みどりを取り入れるルールをつくる

- ・みどりを取り入れるルール
- ・道路に少しでもはみ出したらだめなのか、など気になる

●みどりを取り入れたおしゃれな建物に補助を出してはどうか

- ・不動産とタグを組んで、建物のデザインに必ずみどりを取り入れ、区で補助するようになればと

●杉並区のみどりの価値を高めていきたい

- ・みどり＝杉並の価値を高めていきたい
- ・東京 23 区の中でも杉並区はとてもみどりが多と思います。タヌキがネコのようにいる事もビックリしました

●個人の土地のみどりにも行政がもっと指導すべき

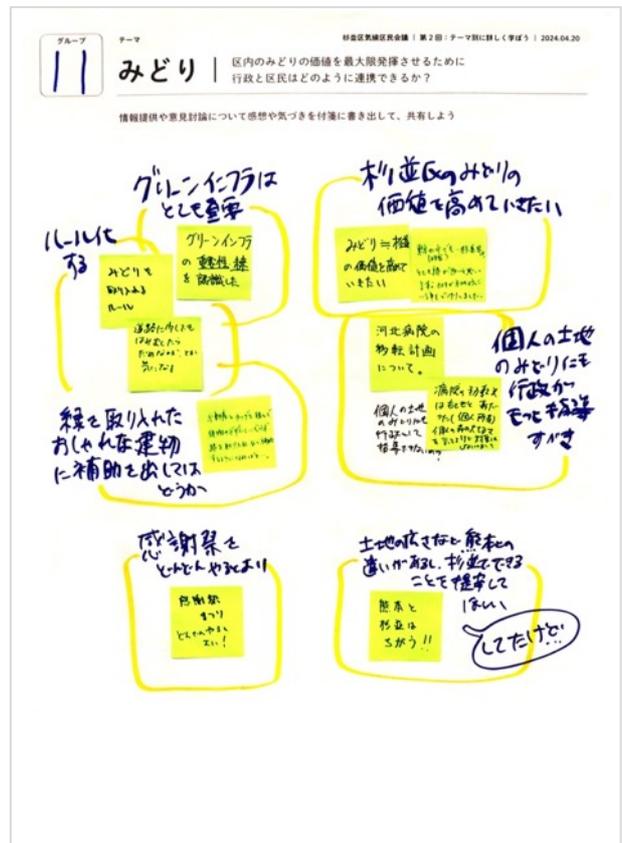
- ・河北病院の移転計画について。病院の移転先はもともと個人所有の森だった。個人の森の大切さを言っているが対策はしないのか？個人の土地のみどりにも行政として指導できないか？

●感謝祭をどんどんやると良い

- ・感謝祭、まつり、どんどんやるとよい！

●土地の広さなどの違いがあるので、杉並でできることを提案してほしい

- ・熊本と杉並は違う！
- ・情報提供は杉並でできることの提案があった



12 グループ

●杉並区の緑被率を聞いてもピンとこなかった

- ・緑被率はイメージしにくいと感じた

●みどりの大きさ、大切さを感じた

- ・まず知ること、気づくことが大切
- ・屋敷林の保護が大切だと感じた

●屋敷林を活用できると良い

- ・屋敷林を活用する

●個人でできる取組もあれば、行政が取り組む必要がある取組もある

●屋敷林など「民間のみどり」を手入れするための区のサポートがあると良い

- ・住宅地、木々の手入れの費用を、区である程度負担できると良い

●屋上緑化がより簡単な仕組みとして取り組みやすいと良い

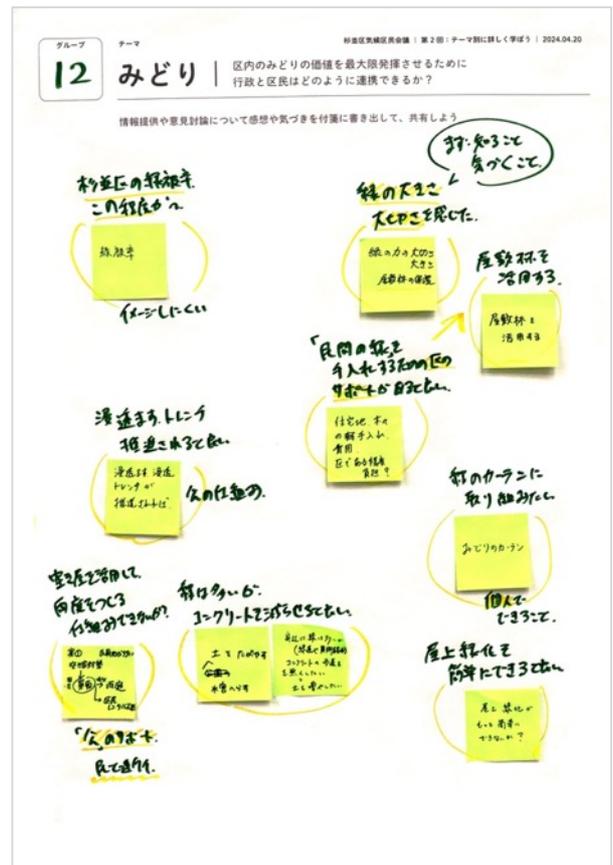
- ・屋上緑化をもっと簡単にできないか？

●浸透ます、トレンチが公の仕組みとして推進されると良い

- ・浸透ます、トレンチが推進されれば

●個人でできることとして、みどりのカーテンに取り組みたい

- ・みどりのカーテン



●空き家を利用して雨庭をつくる仕組みができる」と良い

- ・空き家を区が買取し、雨庭や区民レンタル畑をつくる
- ・行政と民間が連携して取り組む必要がある

●みどりが多いのは良いが、コンクリートを減らせると良い

- ・土を耕すし、水害減らすことが重要
- ・身近にみどりは多いが（緑道や街路樹）、コンクリートの歩道を無くして土を増やしたい

交通

凡例 | ●意見のポイント | ・付箋の言葉 (感想・意見)

[1~12グループのワークシート]

The image displays 12 hand-drawn worksheets, numbered 1 through 12, arranged in a 3x4 grid. Each worksheet is titled '交通' (Transportation) and contains handwritten notes, diagrams, and sticky notes. The worksheets are organized into four columns and three rows. The first column contains worksheets 1, 5, and 9. The second column contains worksheets 2, 6, and 10. The third column contains worksheets 3, 7, and 11. The fourth column contains worksheets 4, 8, and 12. The notes are written in Japanese and include various ideas and opinions related to transportation. The worksheets are organized into four columns and three rows. The first column contains worksheets 1, 5, and 9. The second column contains worksheets 2, 6, and 10. The third column contains worksheets 3, 7, and 11. The fourth column contains worksheets 4, 8, and 12. The notes are written in Japanese and include various ideas and opinions related to transportation. The worksheets are organized into four columns and three rows. The first column contains worksheets 1, 5, and 9. The second column contains worksheets 2, 6, and 10. The third column contains worksheets 3, 7, and 11. The fourth column contains worksheets 4, 8, and 12. The notes are written in Japanese and include various ideas and opinions related to transportation.

2 グループ

●自転車の問題点 1 | 自転車道はまだ整備されていない、インフラ整備が先では

- ・子ども（9才）を自転車に乗せるには、杉並は道が狭い
- ・駐輪スペースが少ない（店の前の歩道に駐輪している）
- ・危ないです。青梅街道、環状8号線に自転車レーンをつくって下さい。車道も歩道もコワイ

●自転車の問題点 2 | ルールの徹底

- ・自転車のルールの周知と遵守は徹底してほしい。歩いていると、とてもコワイ
- ・ルール、安全に気をつけたい

●考え方を変えないと難しいか

- ・自動車为社会インフラであるだけに、単に移動手段を自転車に変えるだけでは不十分。考え方を根本から変える必要があるのでは

●スローモビリティは良い

- ・子どもに優しい交通が望ましい
- ・「ゆるりのまち」のコンセプトに共感

●歩いて楽しい環境づくりのために、みどりや景観を大切にしてほしい

- ・青梅街道、環八の街路樹が枯れています。かわいそうです。見直して下さい
- ・自転車、徒歩移動する上で、みどりや景観を大切に保全してほしい
- ・「歩いて楽しい」がなければ、自転車や歩行の移動は続かない

●事業者の取組を知りたかった

- ・個人レベルではよく分かったが、事業者の運輸事情を知りたかったな...
- ・南北の交通は切実...
- ・週4回はすぎ丸君を利用しています。高齢者にはとても助かります。バスは便利



3 グループ

●シェアリングは応用できる

- ・ share の考え方が応用できそう
- ・ シェアサイクルの年パスが欲しいです

●パリの本気を感じた

- ・ 交通とみどり パリは本気！か
- ・ 杉並も率先してパリと姉妹都市を目指そう
- ・ パリの例は参考にすべき。車をなくすことは可能か

●利便性とみどりは両立できる？

- ・ 利便性（交通）とみどりは両立可能なのか（この国で）

●グリーンスローモビリティ、ループなど事業として成り立たせていけるのか？

- ・ 事業性とのバランスは？行政が担う必要？

●公共交通も大切。必要としている人がいる

- ・ 【共存】自転車に乗れない人のための公共交通機関も大事にしてほしい
- ・ 個人的には自転車の普及にはあまり好意的ではない→グリーンスローモビリティの方が興味あり

●自転車普及と環境整備はセットで考えたい

- ・ 歩道を走る自転車が本当に危ないと感じる

●駐輪場があることが重要

- ・ 駐輪場整備ありがたいことです。ないと自転車が使えない

●グリーンスローモビリティに期待

- ・ グリーンスローモビリティに期待。杉並のシンボルに！

●都電の復活を

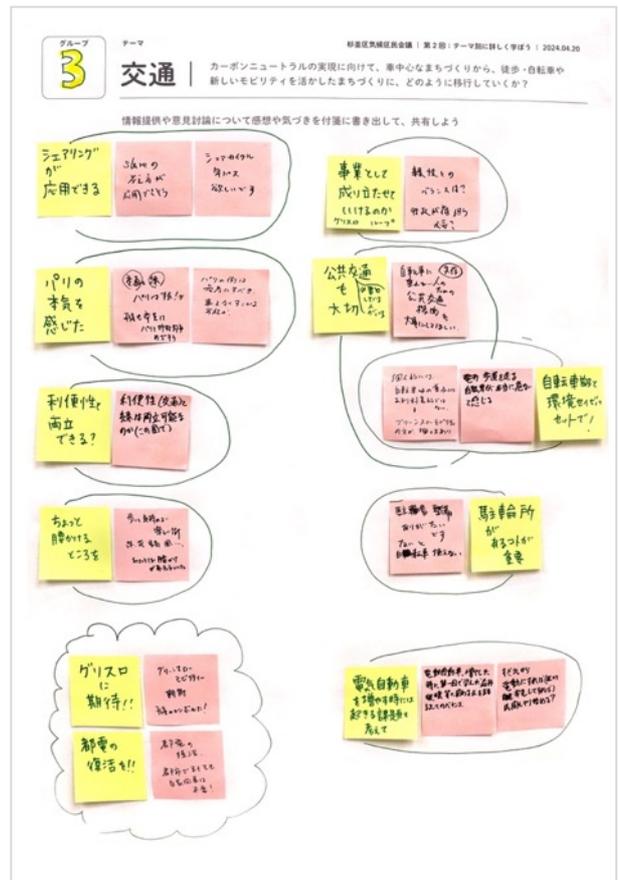
- ・ 都電の復活。都市でそもそも自家用車は不要！

●電気自転車・電気自動車を増やす時には起きる課題も考えたい

- ・ 電動自転車を増やした時に第1回で学んだ森林破壊等に関わる点を踏まえてのバランス
- ・ すぎ丸から電動にすれば（区が率先してすれば）民間もやり始める？

●歩くためにはちょっと腰掛けるところが欲しい

- ・ 歩いて気持ちのよい楽しい街。みどり、花、空気、風…。ちょっとした腰かけがあったらいいな



4 グループ

●自転車利用を安全に推進する上で、レーンの整備や意識改革が必要

- ・道路に書いてあるけど狭くてこわい。結果として歩道を走ることに
- ・自転車が車両であることを認識する(信号を守るなど)
- ・自転車側も意識変革が必要だが...
- ・もっと自転車を活用しやすい環境をつくってほしい。駐輪場の値段、電柱が邪魔→細い道の整備

●杉並区は南北移動が不便

- ・南北の電車路線があったらいいなあと思う。練馬区は隣なのに電車だと遠い。世田谷には割と行きやすい

●自転車利用を促進する上で、駐輪場のキャパシティが足りていない

- ・駐輪場が足りてないのに、その話が出ない理由は？
- ・不法駐輪が多い所(駅前など)に駐輪場を増やすべきでは
- ・駐輪料金も安いと良い

●自転車利用を促進する取組で、できること・できないことの精査が必要

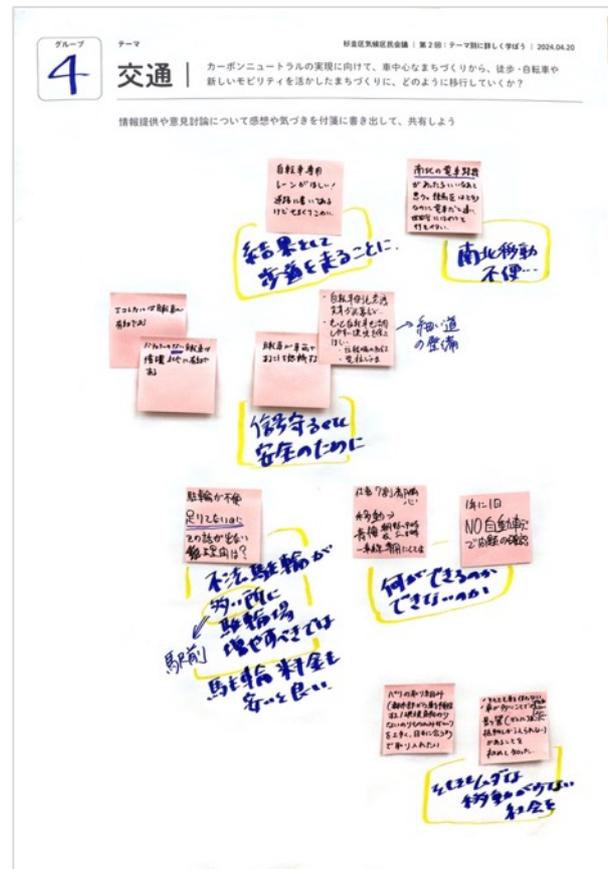
- ・仕事7割都心。移動→青梅 朝6~9時、夜5~8時 一車線専用にしては
- ・1年に1日 NO自動車デーで問題の確認

●そもそもムダな移動が少ない社会にしたい

- ・そもそも車を使わない。移動しないようにしたい
- ・車が多いことでの影響(ガスに強い植物しか植えられない)があることを初めて知った
- ・パリの取組(都市部から車を排除する/環境負荷の少ない乗り物のみ可など)を上手く日本に合う形で取り入れたい

●自転車利用の有効性を知った

- ・エコシティには自転車が有効である
- ・バッテリーのない自転車は循環社会に有効である



5 グループ

●交通だけでなく複合的に取り組めると解決につながることもある

- ・アスファルトを減らして土を増やすと交通も変わる（洪水対策にも）

●自転車を使うことのインセンティブがあると良い

- ・もっと自転車を使ってもらうためにポイントなどのサービスをしてはどうか？

●自転車普及のためには駐輪場を増やしたい

- ・自転車普及には駐車場の整備も同時に必要
- ・駐輪場を増やしてほしい

●安全のための法改正が最優先

- ・法改正必要
- ・自転車ルールを厳格化をお願いしたい
- ・自転車者徒歩の人が安心して移動できるような環境づくりが必要
- ・車を減らすにはパリと同様、5ナンバーは曜日で規制するとか、2車線は1車線にするとか考える時では
- ・杉並区は歩道がない。道は75%もある

●杉並区にもトラムを整備してはどうか

- ・杉並区もトラムをつくっては？

●CO₂排出の「家庭部門」には自家用車が入っていないことに驚いた

- ・CO₂排出の家庭部門には自家用車が入っていない

●健康づくりには自転車以外の方法が必要

- ・自転車は環境、健康に効果ある事が解るが、健康にはスポーツ etc.できる施策を考えて欲しい



6 グループ

●事例で紹介された取組を杉並で実現するには、道路整備が必要か？

- ・自転車の利用を増やすために道路を広げる必要がある
- ・パリの事例イイな一道路幅がそもそも広い。簡単にマネできる？杉並でどう実現する？
- ・日本でも自転車専用の道路をつくってほしい
- ・自転車利用者が安心して走れるような整備をして欲しい（歩行者目線でも）
- ・幹線道路の混雑を回避するために、生活道路を通り抜けるのを禁止してほしい

●根本的な問題をどう乗り越えるか

- ・日本は歩行者優位だが、以前行ったアフリカは車優位。こうした根本的な問題をどう乗り越えるか？

●自転車走行のルール徹底が難しい

- ・自転車のルールが知られていない。もっと啓蒙しよう
- ・歩道を自転車で走ってます。今のままでは駐停車もあり車道を走れない→“今は怖い”

●交通手段の選択肢がもっとあると良い

- ・天候や運行状況に応じて選択肢があると良い。①公共交通機関のルート 1、②公共交通機関のルート 2、③自転車でも行ける

●シェアサービスが充実すると良い

- ・自転車も“たまにしか使わないもの”なので、シェアサービスを利用したいが少ない。海外と比べてスタートアップ企業がやらない？

●自転車や徒歩での移動が増えることで、交通渋滞解消に！

- ・自動車の代わりに自転車や徒歩で移動する人が増えることで、交通渋滞の解消につながると思う
- ・自転車を増やすしかない？！
- ・杉並区在住なら、徒歩も環境的にも健康的にも節約的にも良い手段のハズ



7グループ

●学校教育で交通ルールが今よりも学べると良い

- ・自転車の乗り方、交通ルールを早くから学校教育に取り入れる
- ・現在も学校であるが、1度しか習わない
- ・小中高でももう少し学べる回数が増えるとよい

●自転車を推奨するのであれば、駐輪場を増やしたり、道を広く整備する必要がある

- ・とても自転車を推奨していたが、正直、自転車を使うにはまだまだ不便なところが多い気がした
- ・駐輪場がなかったり、あってもお金がかかる。車道の自転車通るところの狭さ
- ・駐輪場がいつも満車で使いにくいので、もっとあるといいなと思った
- ・自転車を乗りやすくするために、道路の整備をお願いしたいです。車道の横を走るのが怖いです
- ・乗りたくても乗れない。怖い、狭い
- ・道が整備がされると乗りやすくなる

●車を減らすだけではなく、環境に配慮している便利な車を活用するのはどうか

- ・車を使わず、自転車を推奨するのではなく、せっかく便利な車があるのだから、その車をどうやって環境に配慮して使えるのかを考えた方がいいのではないかな

●都市から車がなくなったら、新しい道路の活用が広がるとよい

- ・都市から車がなくなったら道路は誰のもの？
- ・有効活用するにはどんな仕組みが？
- ・柔軟に公共を使いたい。時にレストラン、屋台、時に公園

●スローモビリティなどを区中心だけではなく、それ以外のエリアにも目を向けて欲しい

- ・ゴルフカートのようなスローモビリティが杉並の狭い道路に増えると、高齢になった時いい
- ・区中心以外の地域にも目を向けて欲しい
- ・モビリティの導入が他の区よりも遅かった

●自転車が静かでクリーンだという気づきがあった

- ・自転車に静かとかクリーンという視点がなかった



8 グループ

●自転車利用は夏の暑さがつらい

- ・自転車は夏は暑いので夏は許して欲しい

●高齢者になった時には車が必要になりそう

- ・車使っていないし、と思ったけど、将来使うことになるのか…？

●通販などのeコマースの利用が増えていく中で、運搬の車も増えそう

●自転車利用者のルール・利用者のマナーの転換期だと思う

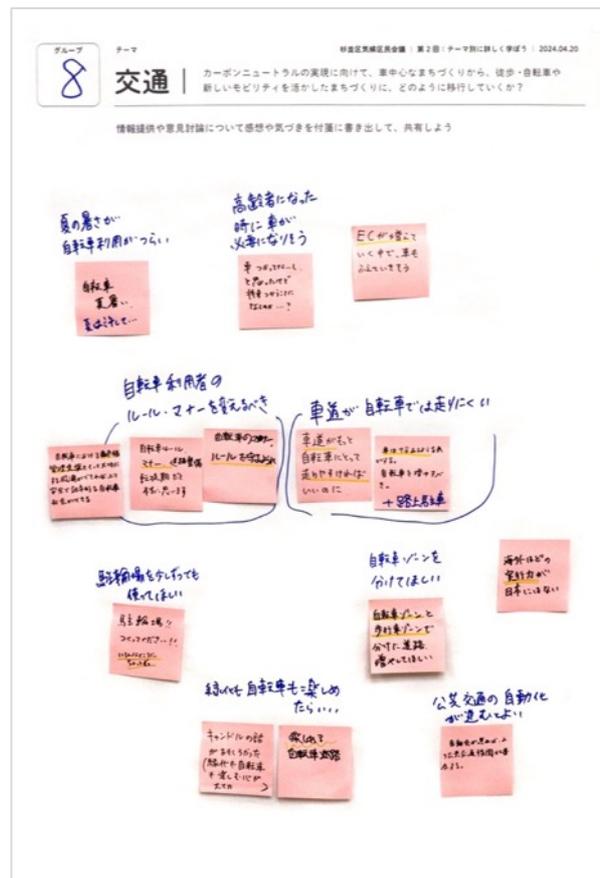
- ・自転車における危機管理意識をもっと大切にする風潮ができれば、より安全で効率的な自転車社会ができる
- ・自転車ルール、マナー、道路整備の転換期だと本当に思います
- ・自転車のマナー、ルールを守るように

●現状の車道は自転車では走りにくい造りになっている

- ・車道がもっと自転車にとって走りやすければいいのに
- ・車は十分あるような気がする。自転車を増やすべき。
- ・路上駐車があると走りにくい

●駐輪場を少しずつでもいいので、多くの場所につくってほしい

- ・駐輪場！つくってください！いろんなところにちょっとずつ



●海外事例のように、自転車ゾーンを分けてほしい

- ・自転車ゾーンと歩行者ゾーンで分けた道路を増やしてほしい
- ・海外ほどの実行力が日本にはない

●緑化も自転車も楽しむ心が大切だと思う

- ・キャンドルの話がおもしろかった（緑化も自転車も楽しむ心が大切）
- ・楽しめる自転車道路

●公共交通の自動化が進むといい

- ・自動化が進めば、より公共交通機関が普及する

9 グループ

●公共交通機関についてもっと知りたい

- ・公共交通機関の話がもっとくわしく聞きたかった

●自転車に乗るのは怖い反面、脱炭素への貢献の手段として新しい気づきがあった

- ・脱炭素といえばEVしか頭になかったが、自転車も大きな選択肢になることが分かった

●そもそも道路の整備が必要

- ・危なくて怖い思いをした（自転車）
- ・自転車レーンが狭い。危ない。広げられないかな
- ・歩道での自転車が怖い。人、自転車、車

●実現と継続するためには、楽しく快適に移動できること、互いへの思いやりが必要

- ・思いやりが大切。そういう人に私はなりたい
- ・楽しく快適に移動したい
- ・歩行者と自転車がリスペクトし合い共存したい

●電気自動車のデメリットもあるのでは？

- ・電気自動車は廃棄率やリサイクル率の問題が気になる
- ・EV車が及ぼす良くない影響もあると聞いた...

●海外の事例は、日本で実現可能なのか？日本と海外で違いがあるのではないのか？

- ・海外の車の速度制限が遅めなのは、国全体が時間にルーズだからなのではないか



10 グループ

●移動について、知らないことが多かった

- ・身近な話題にもかかわらず移動について知らない事が多かった
- ・杉並は交通が便利だという事実にはじめて気づいた

●グリーンスローモビリティに乗ってみたい

- ・楽しそうだし、便利そう

●バスをもっと使おうと思った

- ・賢い選択としてバスをもっと利用したい
- ・たて（南北）移動には便利
- ・今ある路線を使わないと廃止になってしまうのではと不安

●通学をバスから自転車に変えたら楽で早かった

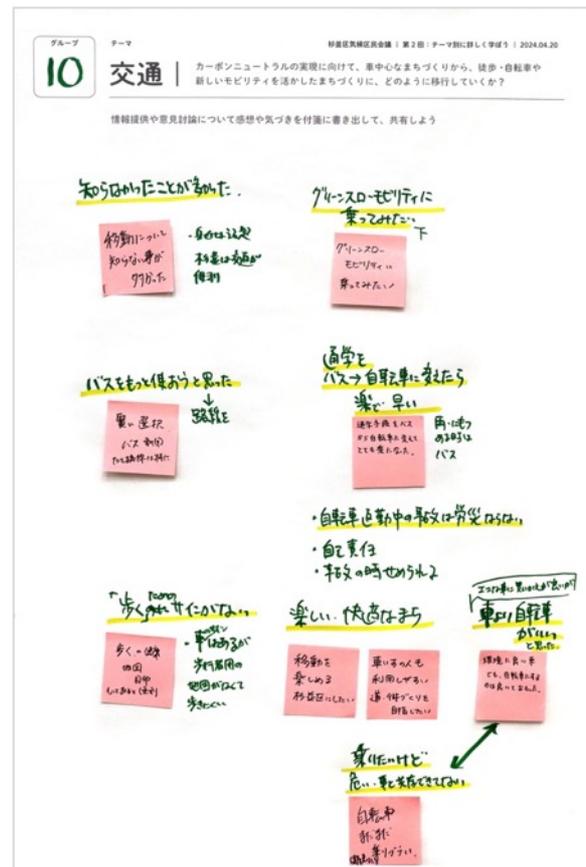
- ・通学手段をバスから自転車に変えてとても楽になった。
- ・雨、荷物がある時はバスを使っている

●自転車通勤中の事故は労災対象外で導入しにくい

- ・自己責任を問われてしまう
- ・事故の時に会社に迷惑がかかる、責められる

●「歩く」ためのサイン・地図がないので歩きにくい

- ・歩く＝健康 地図、目印がもっとあると便利
- ・車のサインはあるが、歩行者用の地図がなくて歩きにくい



●楽しい、快適なまちになっていくと良い

- ・移動を楽しめる杉並区にしたい
- ・車いすの人も利用しやすい道、街づくりを目指したい

●エコな車に買い替えることも良いが、車より自転車が良いと思った

- ・環境に良い車でも良いが、まずは自転車移動にするのは良いと思った

●自転車は使いたいけど危ない、車と共存しにくい

- ・自転車は段差などまだまだ乗りづらい

11 グループ

●シェアサイクルや駐輪場など、自転車を利用しやすい環境整備が必要

- ・駐輪場がない。イチカバチかになる
- ・駐車場やシェアサイクルの金額を安くした方が増えるのでは？
- ・自転車を利用しやすい環境整備が必要となる

●カタカナ用語が多いのでは？

- ・グリーンスローモビリティとかシェアサイクルとか、カタカナが多くて一般的にピンとこないのでは？

●グリーンスローモビリティのような先駆的な取組はよい

- ・グリーンスローモビリティなど、杉並区発信の大都市交通の先駆者が良い

●自転車や徒歩で出かけたくなるまでに

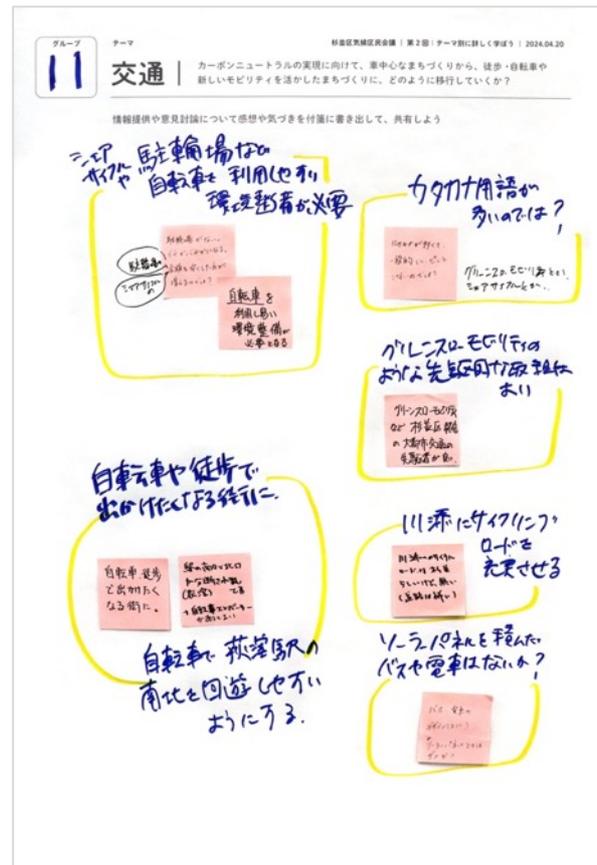
- ・自転車・徒歩で出かけたくなるまでに
- ・荻窪駅の南口と北口が分断されている→自転車エレベーターがあるとよい
- ・自転車で荻窪駅の南北を回遊しやすいようにする

●川沿いにサイクリングロードを充実させる

- ・川沿いのサイクリングロードは杉並らしいけど、無い（道路は怖い）

●ソーラーパネルを積んだバスや電車はないか？

- ・バス、電車のデザインとして、上にソーラーパネルとかはダメか？



12 グループ

[SHIFT (変える) の視点]

●公共交通機関を使う意識が大切

- ・公共交通機関の利用を最優先する意識が大切

●グリーンスローモビリティが気になった

[SHIFT を支える取組]

●バスなどの運転手の働き方見直し

●自転車道の整備が必要

- ・自転車利用のメリットが大きいことは理解したが、利用を促すため自転車専用レーン整備が必要
- ・自転車利用者として、歩道走行場所と車道走行場所が混在していて分かりにくいいため、歩道の幅を拡幅してほしい
- ・リスペクトは大事だが、まずはベースの整備が必要！

●自転車の走行マナーは大切

- ・自転車のルールについて再確認したい
- ・車を運転するものとして、自転車走行者のはみ出しや、駐車車両をよけて走行しているのが怖い
- ・ヘルメット着用など、ルールを守っていることを周囲に対して知らせることが大切

[IMPROVE (改善する) の視点]

●EV車の普及率が低い。充電スタンドもあまり見ない

- ・EV車の普及率が低いのは企業、国の問題かもしれない
- ・EV車の充電スタンドが増えないと普及しない

